

第 8 回 静岡市清水庁舎整備検討委員会

＜議事要旨＞

開催概要	
■日 時	令和 5 年 3 月 10 日（金）15 時 00 分～17 時 00 分
■場 所	江尻生涯学習交流館 3 階 集会室
■出席者	委員 恒川和久委員長、石垣俊幸委員、伊東哲生委員、牛場智委員、加藤孝明委員（オンライン参加）、小豆川裕子委員、関孝一委員、田宮文雄委員、堀川渉委員 欠席：黒瀬武史委員（事前意見有）
	事務局 静岡市企画局 松浦局長 企画局 アセットマネジメント推進課 岡村課長、長井室長、藁科主査、井上主任技師 欠席：静岡市企画局 山田局次長
■傍聴者	20 人程度
■議 題	1 開会 2 報告事項 前回意見の整理、第 7 回委員意見に対する市の考え方 3 議事 （1）導入機能の整理 （2）階層構成・事業手法に関する想定 （3）清水庁舎改修の基準となる考え方（公表イメージ） 4 事務連絡 5 閉会
■資 料	・資料 1 前回意見の整理 ・資料 2 第 7 回委員意見に対する市の考え方 ・資料 3 導入機能の整理 ・資料 4 階層構成・事業手法に関する想定 ・資料 5 清水庁舎改修の基準となる考え方（公表イメージ）

議事要旨	
1	開会
2	報告事項 前回意見の整理、第7回委員意見に対する市の考え方
事務局	<p>(資料1、資料2について説明)</p> <p>続いて、本日欠席の黒瀬委員からの事前意見です。</p> <p>2-1 清水庁舎整備検討委員会の検討成果の位置づけについては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本構想、基本計画の取り扱いについては行政の裁量の範囲だと考える。基本構想を変更しない場合は、今年度の検討成果と基本構想、基本計画の関係を整理し、今年度の検討成果をどのように仕向けるのか事務にて丁寧に説明する必要がある。 <p>仮に提出した場合の組織配置の考え方については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改修の技術的な詳細が固まるまで、面積を何㎡確保できるのか、何を配置するか決められないため、資料の通り現段階では現庁舎で必ず残すべき部門、機能を明確に整理しておくことが重要。 <p>と頂きました。</p>
恒川委員長	<p>事務局からの説明について質問等があればお願いします。</p> <p>資料2の2ページの清水庁舎整備検討委員会の位置づけについて、平成29年度に策定した清水庁舎の基本構想は今後も継続します。元々、清水駅に近い江尻地区への移転新築が基本構想でしたが、今回の改修の位置づけは20年程度とし、尚且つ20年程度後の清水駅近郊の江尻地区がどのようなになっているか見据えた上で、清水庁舎を建設する方向については基本的には変わっていません。基本構想は維持したまま、平成30年度策定の基本計画は廃止します。基本計画の代わりに改修となる位置づけです。実際には、第三次診断を行い、補強計画等を作りますが、そのあとは完成とはならず、改修の基本計画が策定され、改修工事が行われます。また20年以内に経過途中で、新たに清水駅近辺に庁舎を建て直す基本計画を作る検討が始まり、清水庁舎が完成する流れになります。本日の最終のとりまとめは、今後改修に向けて残り、委員会の意見として公開されていきます。</p>
伊東委員	<p>資料2の2-3「仮に減築した場合の組織配置の考え方について」です。黒瀬委員のご意見に、現段階では現庁舎で必ず残すべき部門、機能を明確に整理しておく必要があるとありましたが、私も同感です。具体的には、葵区は商業都市的、清水区は港湾都市的から徐々に発展した経緯があり、都市計画や基盤が違います。そのため、組織配置がどちらかに寄るのは良くないと思います。必ずしも清水庁舎に全経済局があることが良いとは思いませんが、現場に近い部署こそ職員がいていただきたいので、その点を十分に考慮してほしいと思います。</p>
恒川委員長	<p>黒瀬委員、伊東委員からのご意見に、組織配置の整理についてありました。事務局で考えているのは、資料2の4ページが整理との考えでよいですか。</p>
事務局	<p>仮に減築の必要があった場合、基本的に市民対応がある部署は必ず残していきます。その上で、執務面積が狭くなり、部署を清水庁舎外に配置する必要がある場合は、市民対応の少ない本庁部局を選んで周辺に配置する考えです。現在、こども未来局、教育委員会、経済局が配置され</p>

議事要旨	
恒川委員長	<p>ていますが、その優先順位については議論を進めながら対応をさせていただきます。</p> <p>仮に減築した場合の議論もありますが、改修工事をしている期間の職員の働き方も考えなければいけないポイントです。改修工事中は、別の場所に職務ができる場所を確保する必要があるか否かなど、改修の仕方によっても変わってきます。改修工事によっては、清水庁舎内に残す部署も変わるため、今後の検討が必要になります。</p>
<p>3 議事 導入機能の整理</p>	
事務局	<p>(資料3について説明)</p> <p>黒瀬委員からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入機能は、現段階で細かい検討はできないが、避難者を1階から2階に上りやすい構造にすることが重要だと頂いています。
恒川委員長	<p>前回の委員会で頂いたご意見に基づき、事務局で整理して頂きました。大きく変わった点は、清水駅に直結する庁舎から改修となったため、業務継続や防災面等のフルスペックの内容を変更し、ヘッドクォーター機能が確保できる整備を行うことにし、改修ではフルスペックで出来ないこともあることを踏まえた変更がなされています。</p>
田宮委員	<p>津波の対策については市民の関心が非常に強いです。業務をしながら避難所に指定する考えはないとのことですが、現在も避難ビルとして定められており、一時的に避難している間の避難民の受け入れ対応をしっかりとしてほしいです。特に近隣の皆さんが安心して避難できるビルにしてほしいです。</p>
事務局	<p>改修であったとしても、建物自体は耐震、耐津波性能を備え、区の防災対策本部として機能するための構造にする考えです。詳細は危機管理本部と打ち合わせをした上で決められますが、清水庁舎は避難所として長期滞在を前提としませんが、緊急避難場所として津波が引くまでの一定期間は安心して避難できるように調整していきたいと考えます。</p>
加藤委員	<p>市役所、区役所では、避難生活ができるような避難所の機能をもたないのが一般的です。阪神淡路大震災時に、止むを得ず市役所に避難生活者を受け入れた所がありましたが、その結果、市役所の災害対応業務が滞ってしまったという経緯があります。また、清水庁舎の周囲は浸水されるので、逃げ込んだ人たちについては地震が収まったら、速やかに津波に被災していない避難所に行っていただくのが双方にとって最もよいと考えられます。</p>
事務局	<p>配付資料は、あくまで議論の基礎として清水区で想定したものです。静岡市防災情報マップによると、津波到達時間が地震発生直後15分から20分となっており、その範囲で職員以外の清水庁舎への避難者を試算すると約800人となります。</p>

議事要旨	
恒川委員長	<p>数字の持つ意味がわからない部分もありますが、清水庁舎へ約800人の避難者が来られる可能性があり、あくまで清水庁舎には一時的な緊急避難場所の滞在のみであり、数日間の滞在の避難所の想定ではないと思います。清水庁舎はヘッドクォーター機能、防災拠点としての機能を維持できるようにすることが重要と思います。</p>
堀川委員	<p>2-3の機能的且つ合理的な庁舎機能についてです。テレワーク推進、フリーアドレス等により、清水庁舎の職員の働き方に合ったオフィスレイアウトにしますとあります。本日の新聞で、静岡県庁が1月からフリーアドレスをしている記事がありました。最終的にフリーアドレスによって使いやすいオフィスになったのかなど、半年後、1年後も県に確認してほしいと思います。</p> <p>また、以前の議論でコンシェルジュ機能が出てきました。どの部署が扱えばよいのかわからず、たらい回しで困っている事案があると聞いています。場合によっては、市のOBをコンシェルジュにし、スムーズに対応ができる機能を付け加えてもらいたいです。</p>
恒川委員長	<p>形だけフリーアドレスになっても意味がなく、実際の働き方がフリーアドレスをしたほうがよい働き方にならないと効果が出ないです。</p> <p>コンシェルジュの話も含め、どういった働き方、市民サービスであるべきか、今後の検討において考慮いただき、単純に今の形をそのまま残せばよいのではないと考えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>静岡市役所も平成29、30年度の清水庁舎新築検討の際、本庁機能3局が静岡庁舎へ移る前提でしたので、静岡県よりも早くから静岡市ではフリーアドレスを導入しました。ただ、その時点では、仕事の効率化というより、面積を狭くすることを主な目的にしていました。現在フリーアドレスを導入してない課もあり、今後、全庁で導入するか整理できていないのが現状です。行政と民間は働き方が違うため、業務の効率をあげるためには、どちらがよいか検証した上での判断が必要だと思えます。</p> <p>3ページのコンシェルジュについては、実験的に静岡市役所で職員が市民に訪問したい課を聞く対応をしています。すでにワンストップサービスや書かない窓口を導入している自治体もあり、迷わない案内方法はDXによって実現できると考えています。ただ全てをDXにすればよいのではなく、対面のコミュニケーションでご案内することも大事だと考えるため、最終的にどういった形にするかは今後の検討項目としていきます。</p>
恒川委員長	<p>余談ですが、最近出たチャットGPTについて。AIが色々なことをしてくれると、行政サービスの仕事のあり方が大きく変わると思います。資料を探すなどの行政の仕事をAIがする時が、遠くない時代にくると思います。そういうものに追随する働き方、大きな変化を考えないといけないと思います。</p>
3 議事	
階層構成・事業手法に関する想定、清水庁舎改修の基準となる考え方	
事務局	(資料4、資料5について説明)

議事要旨

	<p>黒瀬委員より、階層構成の議論のポイントについては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今の時点では、第3次診断の結果やそれぞれの配置案の実現可能性、コストがわからない。そのため、今回の委員会は、第3次診断等の情報が明確になり、行政がコストや技術的制約の中で優先すべき事項や大きな考え方を議論することが大切だ。 ・ 細かい階層構成よりも、津波・地震による被災を想定した機械設備の配置と機能維持の考え方、窓口機能の配置と来庁者の避難の方策について、各案のメリットとデメリット、懸案事項の整理を行うことが今回の議論では重要ではないか。 <p>事業手法については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他市の改修の事例を整理・分析して、現実的な事業手法を検討する必要がある。新築と同じような様々な選択肢が選べる状況ではないかもしれない。 <p>と頂いております。</p>
恒川委員長	<p>資料4の階層構成の議論のポイントについて。機械室、区役所部門の配置についてご意見をお願いします。</p>
牛場委員	<p>現段階でも清水庁舎は空調の状態が良くないと聞きます。原因が機械室にあるのか、エアコン本体にあるのかどちらでしょうか。すべて更新する必要があるれば機械室を上層階に設置すること想定できますが、もしエアコン本体に原因がある場合、機械室は地下のままのほうが、コストがかからないかもしれないと考えます。設備に関する調査の見込みがあるのでしょうか。また現時点で空調が良くない原因がわかっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、現段階で空調の状態は良くありません。清水庁舎は建築後約40年経過し全体的に老朽化が進んでおり、庁内の設備も劣化のため改修の時期が来ています。一方で、今年度に至るまで庁舎は建て替えをする方針であったため、これまで更新がされませんでした。また、海沿いのため塩水等の影響もあると思われます。全ての設備について、劣化状況を把握する必要があると思っており、保守管理会社にヒアリングする等で原因を理解していく必要があります。そのうえで、1つの案として2ページにある完全個別空調化するのであれば地下室は使わなくても済むため、そのような方法は想定されます。</p>
恒川委員長	<p>空調設備はコンクリートと違って寿命が短いものであり、40年経過する中で、これまで空調の大規模改修等をしなかったことが問題です。今回を期に空調の入れ替えとなると思います。中央集中方式ではなく個別空調方式の設置もあり得ます。個別空調の場合は室外機置き場が必要となり、バルコニーに並ぶこととなるため、デザイン性に欠けるという点もあります。様々な空調方式、コスト等を含め最適なものを検討する必要があります。恐らくは、空調設備の全てを入れ替えることになると思われま</p>
恒川委員長	<p>前回の議論で、ふれあいホールへ機械室を移動することはやめてほしいという意見があったため、ふれあいホールを見に行きました。ふれあいホールがあるフロアには庁舎全体で使っている会議室が多くあり、会議室のあり方などの見直しは必要です。フロアスペースとしては広いですが、窓のない部屋もあります。そのため、機械室化するかしないかに</p>

議事要旨	
	<p>関わらず、スペースとしてどう利用するのかの見直しも必要だと思いました。</p> <p>基本的には、委員の多くが機械室は浸水しない場所への設置がよい意見ですが、整備コスト抑制のため地下階に設置せざるを得ないという案も併記するという事かと思えます。</p> <p>区役所部門(窓口機能)の配置方針についてご意見をお願いします。</p>
牛場委員	<p>1階に市民スペースがあるほうが市民にとって改修後の変化が目に見えてわかりやすいと思えます。その結果、2階に窓口機能を設置した場合であっても、1階でなければならぬ窓口機能があれば、窓口機能を1階、2階にわけるとは可能ですか。</p>
事務局	<p>例えばDXが進むと1階の窓口に要する面積が少なくなり、それにより生じるスペースを市民に開放することや、歩行困難者は2階の窓口まで来ることが難しい等の理由もあるため、1階と2階に窓口機能を分ける折衷案はあると考えます。</p>
小豆川委員	<p>全体の改修を考える上で、防災の視点から津波浸水対策のために2階に窓口を配置することは、市民に対しても大きなメッセージ性があると思えます。また、行政サービス拠点とまちづくり拠点が重要ということでしたが、1階のほうがアクセスしやすいため、カフェ、イベントスペース等の付加価値のあるコラボレーションスペースを配置することで、大きな方向性の転換イメージが伝わっていくと思えます。</p>
恒川委員長	<p>1階を市民の集いの場にすれば改修の効果としてわかりやすく、津波浸水対策としても重要ということと理解しました。一方で2階へ窓口を移動する場合のデメリットとして、現在の階段やエレベーターではキャパシティが不足することが想定され、難しい部分です。バランスを考える必要があると思えます。</p>
加藤委員	<p>資料3の議論についてですが、避難者が、庁舎内の狭い階段を使い上階に上がるのは難しいと思えます。1階にいる方を浸水深以上の階へ避難誘導することは時間に余裕があり可能ですが、休日を含め近隣の方が逃げ込める立体的な計画を作っておく必要があると思えます。</p> <p>窓口は1階でもいいと思っています。今後のDXを考えると、窓口に來る人はそれほど多くない気がしています。仮に、今と同じくらい來庁者がいたとしても、地震の揺れの後しばらくしてから津波がくるので、その間に2階以上に上がることは可能だと思います。ただ、数百人単位の近隣住民たちが、庁舎内に避難した時に、屋内の階段で上階に向かうと人が滞留する可能性が想像されます。そのため屋外に避難階段等をつくる等の工夫が必要ではないかと思えます。</p>
恒川委員長	<p>現在の庁舎の階段は場所もわかりにくいです。実際に避難時のことを考えた階段になっているかも含めて考えなければいけないと思えます。</p>
堀川委員	<p>過去7回の委員会で、清水庁舎の位置が日の出地区と江尻地区の間に位置しており、まちづくりの拠点という議論がありました。そうすると、1階は必要最低限の窓口機能を持ちながら、市民が利用するためのスペースがあるとよいと思えます。</p>

議事要旨

	<p>資料4の事業手法の概要と特徴について、改修となると一般的に現庁舎の設計会社が情報を持っているため、競争原理が働きにくいと説明がありました。実際には、図面を持っているが、建築に携わっている人がいないと思いますので、元の設計会社の利点は図面を持っていることだけではないでしょうか。</p>
事務局	<p>今後、清水庁舎を設計した会社に再度改修の依頼をするわけではなく、一般的な競争入札として進めていくこととなります。ただ一般論として、他の事例からも見られるように、過去に設計した会社が優位性を持っており競争の原理が働きにくくなっています。</p> <p>またPFI等にするには、庁舎の改修は民間のノウハウが生かしくいということもあります。</p>
恒川委員長	<p>一般論として、設計事務所や施工者に建物のメンテナンスをお願いしており、改修の履歴を保有しています。設計図だけを持っていればよいのではなく、履歴を保有しているため、優位になることがあるということです。</p> <p>実際には、公平に入札やプロポーザルを行うため、必ず優位というわけではありません。</p>
石垣委員	<p>資料4の事業手法の概要・特徴について、新築の場合とありますが、今回は改修のため従来方式しかないのか、PFI方式などを採用した事例があるのか調べてもらった方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>改修というと設計や施工を担当した会社がメンテナンスしたケースが多いと思いますが、改修に特化した事例や民間を活用した事業手法がないか調べてもらいたいと思います。</p>
恒川委員長	<p>改修そのものの事例が少ないということは事実と思いますが、名建築のリノベをして収益を上げる事例はあります。従来方式ではないですが、民間を活用したケースがあると思います。そのため、民間施設の改修でもよいので、どのような改修がされてきたのか事例を収集し、分析してもらいたいと思います。庁舎に絞らなければ多くの事例があると思います。</p>
石垣委員	<p>今回の整備手法は、実際に現場で施工する際に当てはまるものと認識していますが、例えば計画時のプロポーザル方式なども収集して頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>庁舎に絞ると改修の実績はありませんでしたが、対象を広げると市内では市民文化会館がPFIでの改修を目指しているように、様々な事例が出てくると考えます。また従来方式でも具体的な手続きの中で民間を活用する方法や、提案型などもあります。今のご意見も踏まえて、幅広い視点で手法も検討ができるよう修正します。</p>
恒川委員長	<p>余談ですが、清水庁舎の最上階は非常に景色がよかったです。あの展望があれば民間が何かやりたいという提案があるかもしれません。ふれあいホールも含めて、新しい知恵を募ることでお金が生み出せる可能性もあります。幅広く検討頂ければと思います。</p>

議事要旨	
関委員	<p>前回の委員会で改修となったことに感謝しています。清水で生涯を過ごしてきたため、委員会では思いを伝えてきました。</p> <p>資料4では機械室や窓口機能の配置が記載されていますが、どちらの案に決めることはせず、折衷案のようなものも良いかと思います。委員会としてはどちらかに決めずに、今の両案併記がよいかと思います。</p> <p>また、例えば1階に空きスペースができればJAの朝市を開催することや、庁舎の展望でのレストランなども良いかと思います。</p>
伊東委員	<p>窓口機能につきまして、戸籍住民課は証明書の発行が多いと思いますので、1階でもよいと思います。ただ、それ以外の課は相談が多いと思います。</p> <p>1階は市民のための憩いの場所や観光スポットにし、最上階の展望も賛成です。ただ2階に上がる動線が狭いため、階段を広げるなどアイデア出しをし、付加価値を付けたリノベーションができればよいと思います。</p>
小豆川委員	<p>展望台が非常に景観がよいのであれば市民の交流の場になってもよいと考えます。またフリーアドレスも部署内に閉じずに、外部の人が利用できるようなコワーキングスペースを置くことも良いかと思います。</p> <p>食堂は外部の人でも利用でき、地域の食材を使った特徴あるメニューの提供も考えられます。</p> <p>これからアイデアを出していく際、職員や外部の専門家を交えながら創意工夫のある特徴的な庁舎を考えてはどうかと思います。</p>
恒川委員長	<p>静岡市役所の東京オフィスはWeWorkに入っており、コワーキングスペース内に設置されています。通常、自治体の出張所はオフィスを借りていますが、静岡市の場合は民間の人がいる中に設置し営業をしています。そのため、逆として、市役所内に民間の人が入ってもよくなれば、改修であっても生きてくると思います。</p> <p>階層構成についてはご意見頂きましたが、機械室や窓口機能は併記ということではよろしいでしょうか。</p> <p>そのうえで頂いた意見の中で追記できるものは追記してもらえればと思います。</p> <p>資料4の事業手法については、民間も含めて幅広く事例を整理してもらえればと思います。</p> <p>検討委員会は本日が最終回のため、最後に各委員からご挨拶を頂ければと思います。</p>
伊東委員	<p>8回に渡り、議論させて頂きありがとうございました。議論を重ねるうちに、これからの清水が良くなりそうなイメージを持ちました。庁舎の改修やリノベーションによって、庁舎が多目的になり、新築でなくてもまだまだ活躍できる庁舎になるよう創意工夫をしてもらいたいです。これからもご協力できることがあれば言っていただければと存じます。ありがとうございました。</p>
田宮委員	<p>8回に渡りましてどうもありがとうございました。清水庁舎について、現状を踏まえまして良い方向にまとまったと感じます。またこれを</p>

議事要旨	
	<p>機会に清水区が活性化するようになってもらいたいです。清水区の取り巻く状況も明るいのが多いため、周辺状況も活かしながら清水庁舎をみんなで盛り上げて行ければと思います。</p>
関委員	<p>委員の皆様ありがとうございました。清水に住む人間としては、どうしても清水庁舎を残したいという気持ちが強く、また周辺でも清水を変えていく多くの計画があるため、一緒になって清水を盛り上げていきたいと思っています。ありがとうございました。</p>
堀川委員	<p>8回に渡りありがとうございました。またこのような委員会にも初めて参加しましたが、充実した議論ができたと思います。</p> <p>さきほど、清水庁舎の上から富士山が良く見えるという話がありました。以前、静岡庁舎の17階もしくは18階には喫茶店がありとてもよい富士山が見られましたが、一般の利用者に認知されておらず、最終的にはなくなってしまったため、そういうようにならないように考慮してもらいたいです。</p> <p>また改修で結論づけられましたが、日本の多くの自治体で似た課題を抱えていると想定され、日本全国のモデルケースにし、新しい庁舎を全国から見に来てもらえる状況になると嬉しいです。</p>
石垣委員	<p>最初考えていた考えと同じ部分と異なった部分がありました。ただ、このような検討委員会に委員として参加できたことは良かったと思います。庁舎改修が清水の活性化に繋がってほしいと思います。</p> <p>先ほどの議論にもありましたが、古民家に対して現代的な改修が行われる事例もあり、清水庁舎のリノベーションが全国の見本となり、全国から真似されるような期待を持っております。これからも大変とは思いますが、頑張ってもらいたいと思います。本当にありがとうございました。</p>
牛場委員	<p>今まで本当にありがとうございました。素敵な庁舎になるような気がします。現在は新清水から庁舎までは閑散としている雰囲気があります。市民の方にはぜひ庁舎の多様なスペースを使ってもらい、庁舎周辺も様々な使い方をし、一体的に盛り上げていければと思います。一つの店舗、一つの施設で活性化するわけではなく、周辺が盛り上がらないと活性化に繋がらないです。素敵な庁舎になると思いますし、ビジョンも描けると思いますので、みんなでビジョンを共有し素敵なまちになればと思います。ありがとうございました。</p>
小豆川委員	<p>8回に渡りどうもありがとうございました。毎会議ごとに事前説明に1時間もかけられており、事務局の方の本気度や真剣度が伝わってきました。また委員の方々のご意見も丁寧に拾い上げてまとめて頂き、感謝申し上げます。</p> <p>委員長も実際に進めるにあたって、様々な困難が予想されたかと思いますが、委員会のコンセンサスを全員が納得できる形でまとめあげていただき、感謝申し上げます。私自身は専門性の観点からは貢献ができなかったですが、清水の魅力を知る良い機会となりましたし、様々な専門分野のご知見やアイデアを学ぶことができました。ありがとうございました。</p>

議事要旨	
	<p>これからリノベーションの話が出てきていますが、技術的な面も含め各社で様々な提案が出てくると想定されます。特徴ある、これからの清水の未来像が描けるような庁舎にしてもらえればと思います。これからも微力ながらサポートさせて頂ければと思います。</p>
加藤委員	<p>皆様どうもお疲れ様でした。全8回ということで、大変よい議論が積みあがったと思います。ただ所詮区役所といえ区役所という捉え方もでき、本丸は清水のまちづくりの活性化で、明るい未来のある清水を拓いていくことと思います。今回の素晴らしい議論を契機として、清水のまちづくりの議論が進むとよいと切に思っております。</p> <p>また、新築よりも改修のほうが大変な側面があり、様々なハードルがあると思いますが、事務局の方はきっちりとハードルを越えていてもらいたいと思います。</p> <p>また最後に、恒川委員長の素晴らしい手腕に感動致しました。恒川委員長大変お疲れ様でした。</p>
恒川委員長	<p>お褒めの言葉を頂きありがとうございました。初回のときに市長から、この委員会は筋書が決まってないので、ゼロから考え直してもらいたいとの発言があり、自由に発言して議論を進められることができました。多くの委員からのご発言が、清水のまちづくりと庁舎のこれからは繋がっていることをご理解頂いてのものだったので、結果的に改修になったと思います。</p> <p>その間、事務局の方は大変ご苦労なされたと思いますし、台風の被害など途中で事が上手く運べないこともありました。皆様のご協力により切れたと思います。</p> <p>清水のまちをどうしていくのかという議論がより重要だと思います。その議論から庁舎のあり方を通して、清水のまちに広がっていくとよいと思います。</p> <p>これから、市長が変わり、計画をどう実現していくのか非常に重要です。第三次診断や設備の調査も含めてですが、どのような人たちがどう関わりあって計画を進めていくのかを考える必要があります。事務局側のこれからの体制や委員の組成、また特にこの庁舎で働いている役所の方がこれからの役所や清水のまちづくりの議論に入ることでよい改修ができると思います。</p> <p>皆様には心からお礼申し上げたいと思います。</p>
4 事務連絡	
事務局	<p>令和5年度に第三次診断を実施し、本委員会結果を元に合理的な改修を検討します。その際には、委員の皆様にもご相談させて頂くこともありますので、引き続き宜しくお願い致します。</p>
松浦局長	<p>第一回の6月は清水庁舎の狭い会議室で開催し、傍聴の皆さんはZoomでご覧頂きました。コロナが非常に流行っている時期のスタートでした。移転するのか、改修するのか、清水のまちはどうなるのかというところから議論を始めました。</p> <p>企画局では並行して、スタジアムの検討もしており、先日、最有力候補地がENEOSの土地に決まりました。清水のまちづくりの検討と合わせて、庁舎の検討を行いタイミング的にも非常によかったと思います。</p>

議事要旨	
	<p>また、コロナによって市の職員も自宅で仕事ができるような環境が急速に進み、職員の働き方も変わってきました。そのため、新しい働き方の土台ができつつある中での議論でした。更に、台風被害による清水庁舎への影響も確認するなど、様々な意味でタイミングがよかったと思います。</p> <p>10か月で8回の会議と回数が多い中、各会で中身の濃い会議をして頂きありがとうございました。</p>
5	閉会